



平成 30 年度事業報告書

特定非営利活動法人 地域ひといき

事業期間

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

理事長 小林 聖司

2019/05/25

I 事業期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

II 事業の成果（全体要約）

平成30年度は事業所内保育所『大塚わくわく園』を開園して2年が経ちました。わくわく園を中核として、貧困家庭向けの学習塾「サンライズ」を継続し、一時保育つきエステ（カウンセリング事業）「ハピネス」を開始、育児用品リサイクル事業の拡充と少しずつではあるが、自主事業収益も確保出来るようになってきました。また、今後に向けて設備投資なども出来る範囲で行っており、飛躍の準備を進められました。

III 地域ひといきの決算状況と収支詳細

◎事業全体（連結）決算

収入金額	124,488,097円	（前年度対比+22,792,485円）
支出金額	123,181,042円	（前年度対比+12,765,243円）
収支差額	1,307,055円	（前年度対比+10,027,242円）
財産状況	120,245,282円	

◎収支詳細

事業全体決算においては、引き続き大塚わくわく園の収入合計が収入のほとんどを占めている。会費や寄付収入はほぼ横ばいであったが、奨励金収入によって地域ひといきの運営費においては黒字を達成できた。また、地域ひといきでの収入を確保するために比較的安定した資産運用を行いつつ、今後の法人事業の促進に寄与したい。

IV 各事業の実施詳細（収支詳細は事業別収支報告書をご参照ください。）

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 保育所事業

- i) 実施場所 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』
- 実施日時 通年 7:00～20:00
- 従業者の人数 40名
- 受益対象者 保育を必要とする家庭、50家庭ほど

◎実施詳細

平成30年度は事業所内保育所『大塚わくわく園』の運営を継続した。運営については通年を通じてほぼ定員が埋まり、前年比+10%ほどの収入があり設立時の借入金返済を遅延なく行っている他、1ヶ月分程度の運営資金の確保も出来ており、基盤はかなり強化出来つつある。

また、前年度は固定資産取得税（平成29年度取得の建物分）で350万円ほどの納税、園庭の改修や備品の購入100万円、平成29年度に減額された処遇改善加算分の調整で150万と600万円ほどの特別的な支出があったが、その割に収支状況は安定したものではあった。それについては保育士の前期賞与50%カット、後期賞与25%カット、管理者の賞与全額カットを断行した影響もあり、当法人従業員の普段の努力、尽力なくしては達成できない結果であった。

(2) 夜間養育支援事業

実施場所 高槻市大塚町5-8-5 『大塚のびのび園』
実施日時 全日 20:00～翌7:00 (※大塚わくわく園、閉園時間)
ボランティアの人数 2名
受益対象者 不測の事態等で養育が困難な家庭

◎実施詳細

平成30年度もその時々ニーズによってお預かりを実施しているが年間数件程度の利用である。料金も1時間500円と収益度外視で実施しているので積極的受け入れは出来ないところもあるが、困っているご家庭の最終のセイフティネットとしての役割を果たしている。また、里親としての社会的養護で近隣児童養護施設との連携も模索していった。

(3) カウンセリング事業

実施日時 利用者の希望時間に準ずる
実施場所 大阪府高槻市大塚町5-31-8 ヒーリングルーム『ハピネス』
従業者の人数 3名
受益対象者 ヒーリングを必要としている個人、家庭

◎実施詳細

平成30年度は大塚わくわく園の近隣にヒーリングルームとして各種エステおよびカウンセリングが実施できる賃貸物件で本格的に事業として開始している。販促も実施しているが思うように集客が伸びずに平成30年度は大幅な赤字を計上している。

(4) 育児知識等啓発事業

実施日時 通年
実施場所 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』 地域支援交流室
従業者の人数 1名
受益対象者 地域の子育て家庭

◎実施詳細

平成30年度は地域に向けて大塚わくわく園の看護師や保育士が中心となって子育て支援事業を実施していった。看護師が中心の晴栄の部屋は合計2回で延べ7名、保育士が中心のわくわくキッズは合計5回で延べ25名の参加があった。また、高槻市保健センターや高槻市内の公益活動法人3団体と共に協働で高槻イクメンDAYを平成30年12月7日(土)に実施、多くの方に笑顔を届けられた他、講師委託料などの収入もあった。

(5) 集い場所の提供事業

実施場所 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』 地域支援交流室
実施日時 通年
従業者の人数 1名
受益対象者 子育て支援活動をしたいと思う個人、団体

◎実施詳細

『大塚わくわく園』地域交流支援室を無料で貸し出して事業実施を継続している。平成30年度の延べ利用日数51日、延べ利用人数(子ども含む)467名と引き続き多くの地域の皆様や団体様にご利用いただいているが、若干利用が減ってきている状況でもある。

(6) 育児支援員仲介事業

実施日と実施場所 育児支援員が必要とされる所へ通年実施

従業者の人数 1名

受益対象者 育児支援員が必要な個人、団体

実施日時と実施場所

◎実施詳細

今年度においては団体からのイベント時の託児要員、および家庭への支援員の仲介はなかった。その為に事業としての収支は計上していない。

2 収益事業に係る事業

(1) 学童児支援事業

実施場所 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』 地域支援交流室

実施日時 通年 月曜・水曜・金曜 17:00～20:00

従業者の人数 1名 ボランティアの人数 9名

受益対象者 就学後の児童

◎実施詳細

生活困窮者向け学習塾『サンライズ』については『大塚わくわく園』地域交流室に場所を移して事業を実施している。平成30年度は高校生1名、中学生2名、小学生3名の利用があり、学習支援を継続して実施した。子どもたちの人数にあわせて講師数を調整していることのほか、ボランティアによる支援もあり、収支状況は良いものになってきている。夏季恒例の小学生キャンプについては8月6日～7日で曾爾青少年自然の家にて開催を行い、今年度もマイクロバスが埋まる30名弱の利用があった。

(2) 育児用品リサイクル事業

実施日と実施場所 インターネット上にて通年

従業者の人数 1名

受益対象者 育児用品を安価で必要としている個人、家庭

◎実施詳細

平成30年度は利用者様からの寄贈品も多く、例年以上に収益が出ている。システムの関係で収入については送料含めての額で前年度比は高くなっている。

V 総会および理事会の開催状況

(1) 総会開催状況

1、日 時 平成30年05月19日 10時05分～10時35分

2、場 所 特定非営利活動法人 地域ひといき 大塚わくわく園 2階ホール
(大阪府高槻市大塚町5丁目30番6号)

3、出席者数 7名 (うち書面表決者数3名 電磁的表決者0名)

※正会員総数 10名

4、実施内容 平成29年度『決算書・事業報告書』審議、平成30年度『予算書・事業計画書』審議、監事改選を審議し、全て議案を承認。

(2) 理事会開催状況

- 1、日 時 平成30年05月19日 10時35分～10時50分
- 2、場 所 特定非営利活動法人 地域ひといき 大塚わくわく園 事務所
(大阪府高槻市大塚町5丁目30番6号)
- 3、出席者数 理事3名 ※理事総数3名
- 4、実施内容 理事の改選審議と承認、総会で議決した審議の執行についての確認。

(3) 臨時理事会開催状況

- ① 1、日 時 平成30年 5月 7日 13時00分～13時30分
 - 2、場 所 特定非営利活動法人 地域ひといき 大塚わくわく園 事務所
(大阪府高槻市大塚町5丁目30番6号)
 - 3、出席者数 理事2名 ※理事総数3名
 - 4、実施内容 運営費委託費の入金が遅れていることからの1000万円の短期借入金
についての審議、承認
- ② 1、日 時 平成30年 7月26日 14時00分～14時15分
 - 2、場 所 特定非営利活動法人 地域ひといき 大塚わくわく園 事務所
(大阪府高槻市大塚町5丁目30番6号)
 - 3、出席者数 理事3名 ※理事総数3名
 - 4、実施内容 運営費委託費の入金が遅れていることからの1000万円の長期借入金
についての審議、承認